

## 国の誇りと日々の積み重ね ～伝統芸能を通して学ぶこと～



緊張して眉間に皺が…



失敗もありましたが、胸を張って踊りました



笑顔でご挨拶

皆さん、こんにちは。日本では春を迎えた頃でしょうか。こちらカンボジアは、1日中カラカラと乾燥し、そして1年でもっとも暑い時季を迎えています。

今回のDream通信では、3月の祝日に行なわれた地域の催しで子どもたちが伝統舞踊を披露した際の様子、園での勉強と朝の清掃の様子についてお伝えします。

### 伝統舞踊、伝統楽器披露

3月8日、カンボジアでは、「女性の権利の日」のため祝日でした。この日、子どもたちの通う中学校で、地域の皆さんが集まる催しが行われ、そこで園の子どもたちが伝統舞踊、伝統楽器を披露しました。

園では毎週日曜午後に3時間、伝統舞踊と伝統楽器の練習を行なっています。これらの伝統芸能はポルポト時代に制圧された過去があり、現在のカンボジアにおいても先生が多くはありません。一般の子どもたちでは、習うことが難しいものもあります。しかし、園では「子どもたちにカンボジアという国をもっと知ってもらいたい。そして自分の暮らす国を好きになり、誇りを持って生きて欲しい」との思いから、開園当初から現在まで、毎週先生に来ていただき、指導していただいています。

そして今回、日頃の練習の成果を地元の皆さん、そしてたくさんの方が見ている中で披露させていただくこととなりました。大勢の人たちの前で踊るのが久しぶりである子どもたちは喜びと同時に緊張でいっぱいでした。

当日までの1週間、毎晩2時間練習し、本番に挑みました。とにかく笑顔で踊ることを心がけるよう伝えましたが、大きな舞台と目の前のお客様を見て、子どもたちは緊張で顔が強張っていました。少し動きが硬くなってしまったものの、皆、力を出し切ることができ、踊り終わった舞台上で、観客の皆様から大きな拍手を送られた子どもたちの表情には、笑顔が溢れていました。頑張った成果を発揮できた達成感とともに、もっともっと練習し上手になりたいと話していました。

## 自らの輝かしい将来のために

カンボジアの学校は10月から2月が前期、3月から7月が後期の2期制です。前期の試験結果が続々と出て、成績が良かった子は喜び、悪かった子は落ち込み、それぞれの日頃の勉強を見直す機会になりました。成績が良かった子も悪かった子も、後期にはさらによい順位をとることを目標に、日々勉強に励んでいます。

小学生と中学生は、学校での授業がない時間には園での補習を受けています。特に中学生は午前も午後も学校での授業があります。午前の学校から帰ってきて、昼食をとった後すぐに補習が始まります。眠い目をこすりながら、一所懸命先生の話に耳を傾ける姿を見ていると、次の試験では良い結果を残して欲しい、と心から願ってやみません。

高校生は園での補習はなく、学校の授業が始まる前や終わった後に、学校の先生が行っている塾に毎日通っています。高校3年生のポウ・ソペアックは、朝6時から夕方6時まで、学校と塾で勉強しています。日曜にも塾があります。宿題もたくさん出るため、夜も10時まで勉強し、朝は3時に起きて予習をしています。

子どもたちは園に来る前、本当に苦しい生活をしていました。「勉強がしたくても出来なかった頃に比べると、今は大変だけど幸せ」と話す子どもたちの将来が輝けるものであるよう、これからもサポートし続けていきたいと思います。

## 朝の清掃

園の1日は、毎朝の掃除から始まります。早朝5時に起床の鐘が鳴ると、子どもたちはほうき、ちりとり、ゴミ箱、モップ等を手に取り、それぞれの持ち場へいきます。子どもたちは部屋ごとでグループになり、女子棟、男子棟、教室やセンターホールの掃除、園内の落ち葉掃きを行なっています。

それぞれの部屋のリーダーが中心となって、大きい子が小さい子のサポートをしながら、全員で掃除を行っています。毎朝眠い目をこすりながら、寝起きで髪の毛もぐちゃぐちゃですが、掃除をすることで目が覚め、一日をすっきりとスタートさせることができます。

毎朝の掃除のおかげで、園が出来てからもう6年が立ちますが、きれいな建物を保っています。自分たちが園に暮らせることに感謝し、この園がずっと続いて欲しい、という思いを抱きながら、朝の掃除の時間以外にも気付いた時には掃除をする、ごみを拾う、そういう子どもたちになって欲しいと思います。そして掃除をすることで、毎朝爽やかな気持ちで一日をスタートさせて欲しいと思います。



昼食後の暑い時間にも勉強します



夜の消灯後も勉強します



毎朝の掃除で気持ちをリフレッシュ



協力し合って働きます